



▲大会で投球する前田さん



撮影場所：高月グラウンド(高月町東柳野)

無限に広がる将来性

2018カル・リプケン12歳以下
世界少年野球大会
日本代表
まえだ ゆうご
前田 悠伍さん(高月町重則)

「世界の同い年の人たちと試合ができて本当に楽しかった」目を輝かせて大会を振り返る前田さん。今夏に行われた「2018カル・リプケン12歳以下世界少年野球大会」で日本代表として出場し、投手として日本の3連覇に大きく貢献しました。

野球をやっていた父と4歳年上の兄の影響で幼い頃からボールやバットで遊んでいた前田さん。小学校2年生のときにスポーツ少年団に入団し本格的に野球を始めます。「入った当初からエースになりたいと思っていました」と自信を覗かせます。憧れの選手は楽天の松井裕樹投手。その松井投手と同じ左腕から投げられる威力のあるストレートが前田さんの武器です。

今回滋賀県で唯一、代表に選ばれた

前田さん。監督を務める元読売ジャイアンツの元木大介さんの指導の下、各国の代表と対戦する予選リーグ・決勝トーナメントとアメリカの予選を勝ち抜いた州代表チームと対戦するワールドシリーズを戦い抜きました。「同い年でも特に北中米の人たちは背が凄く高くパワーもある。予選リーグのドミニカ戦でホームランを打たれたときに改めて実感しました」と悔しさ混じりに振り返ります。その後、決勝トーナメントの韓国戦で先発を任された前田さん。持ち前のストレートと緩急のついた変化球で、強力な韓国打線を5回1安打無失点と抑え込み、見事勝利を収めました。ワールドシリーズでは代打で出場し安打を放つなど、日本の優勝に攻撃面でも貢献しました。

今回の遠征では、野球以外にも思いが

けない収穫がありました。言葉は通じないものの、ジェスチャーなどで他の国の選手とコミュニケーションをとったり、共に遊んだりする中で異文化交流ができ、世界観が広がったそうです。また、チームメイトからも刺激を受けました。「野球はもちろん勉強が凄くできる人もいた。自分ももっと頑張らないといけないと感じました」と意気込みます。

今めざすのは、所属する湖北ボーイズでの全国大会出場。その後は甲子園と目標が広がります。「今回の大会でのチームメイトと大きい舞台で対戦したい。そのためにはもっとトレーニングをして自分もチームもレベルアップしていきたい」と目を輝かせます。

プロ野球選手という最終目標に向けて、前田さんの飽くなき挑戦が続きます。

Smile Smile

このコーナーでは、市内在住のお子さんたちの写真を掲載します。笑顔と元気あふれるお子さんたちの写真を募集しています。掲載を希望する人は市民広報課(☎65-6504)まで申込みください。



結ちゃん、将ちゃん誕生日おめでとう!! 2人のこれからの成長を楽しみにしています。

土田
将大ちゃん(平成29年10月生まれ)右
結加ちゃん(平成26年10月生まれ)左
(内保町)

森
涼華ちゃん(平成29年5月生まれ)右
椰紗ちゃん(平成28年3月生まれ)左
(森町)



いつもなかよしな二人。これからも元気で大きくなあれ。

まちの人口	平成30年9月1日現在	人口118,669人	男58,095人	女60,574人	世帯数45,638世帯
	平成30年8月中の異動	転入250人	転出246人	出生75人	死亡107人 婚姻54件